岩盤ボーリング柱状図

調査名　二級河川　賀茂川水系　賀茂川支川３３　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量設計等業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	No.4	調査位置	竹原市仁賀町　上仁賀地内	北緯	34° 23' 25.0050"
発注機関	広島県西部建設事務所 東広島支所	調査期間	令和3年 2月13日～ 令和3年 2月15日	東経	132° 49' 19.1980"
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	205.13m	角度	180 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	9.00m	地盤勾配	19° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機DC-58
				エンジン	ヤンマーディーゼルTF120
				ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
1			SF-G	礫混り砂質土								(100)	φ3～10cmの礫を多く含む砂。 砂は粗砂を主体とする。	
2	203.13	2.00										(100)		
	202.23	2.90	SF	砂質土	茶褐							(100)	φ数mmの礫を含む砂質土。	
3			SF-G	礫混り砂質土								(100)	マトリックスは粗砂。 φ1～15cmの礫を多く含む。 GL-3.32～3.47m間は最大礫があり、標準貫入試験は礫打ちとなっている。	
4												(100)		
5	200.13	5.00												
	199.63	5.50	Gr	花崗岩	淡褐	w4	h1	D	V	d	D	7[0](100)	風化し、砂状を呈する花崗岩。	2/15 6:56
6					灰	w2		B	Ⅲ	b	CM	51[64](100)	GL－5.50m以下は一部岩片状をなすが、全体に柱状を呈する硬質な花崗岩からなる。 GL－8.00m付近まで高角度でが幅2mm前後の粘土細脈が発達する。 多くの亀裂面は茶褐色を呈する。	
7												23[23](100)		
8												20[80](100)		
9	196.13	9.00												
10														
11														
12														
13														
14														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
25	1.15	25/300		
	1.45			
16	2.15	16/300		
	2.45			
50以上	3.15	50/170	170	
	3.32			
25	4.15	25/300		
	4.45			
40	5.15	40/300		
	5.45			
50以上	6.00	50/20	20	
	6.02			
50以上	7.00	貫入不能		
50以上	8.00	貫入不能		
50以上	9.00	貫入不能		

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
			100			0	0	0	W1/0	0
			73							
			204			0	100	0	W3/7	7
			100			0	0	0	W1/0	0
		2/13	165							
			110			0	100	0	W3/7	7
			133							
			150			0	100			
		2/15	75			1	100			